

2025/3月度 あすなろ大学 ウォーキングクラブ定例会

歴史と文化の香る町小田原



日時：令和7年3月19日（水）

集合時間：8:30 時間厳守



集合場所：小田急線、海老名駅下りホーム

※最後尾辺り休憩室付近集合

海老名発 8:45～小田原駅着 9:26



当日の準備：飲み物・保険証

■コース： 小田原駅東口→北条氏政・氏頼の墓→報徳二宮神社→小田原城址公園→清閑寺
大久保神社→傳肇寺→小峰御鐘ノ大堀切→淨永寺→小田原駅西口



報徳二宮神社

小田原城が初めて築かれたのは、大森氏が小田原地方に進出した15世紀ごろのことと考えられています。1500年ごろに戦国大名小田原北条氏の居城となってから、関東支配の中心拠点として次第に拡張整備され、豊臣秀吉の来攻に備えて城下を囲む総構を完成させると城の規模は最大に達し、日本最大の中世城郭に発展しました。



小田原城址公園



清閑亭は、明治時代に活躍した黒田長成(ながしげ)侯爵の別邸として、1906年(明治39年)に神奈川県足柄下郡小田原町(現・小田原市南町)に建てされました。旧小田原城三の丸外郭土塁の南向き傾斜地に位置しており、晴れた日は母屋から真鶴半島や大島を望む相模湾や箱根山を一望できます。

清閑亭

大久保神社は、小田原北条氏の滅亡後に小田原城に入って初代藩主となった大久保忠世を祀る神社として1893年(明治26年)に創建された。もとは小田原城天守台跡にあったが、明治33年、城跡が御用邸になることとなつたため現在地に遷された。



大久保神社



<幹事> 城森幸雄 大村浩治 小山久仁子 山本愛子 菅原千恵子